

佳作

## おとうさんありがとう

鹿児島県  
垂水市立協和小学校二年

坪内 蘭丸

ぼくはおとうさんと二人でくらしています。ぼくのおとうさんは、カンパチという魚のようしょくをしています。いつも朝早くからしごとにでかけます。毎日魚にえさをやるためにふねにたくさんえさをのせて、おきにあるカンパチが入ってるいけすに行きます。二年かけて、魚を大きくするためにがんばっています。生ものなので、そだてるのにたいへんくろうしています。また、たいふうなどのときは、かえりがすくおそくなります。そんなときは、ぼくはおとうさんのことがしんばいになります。でもおとうさんは、つかれてるのにもいつもえがおでかえってきます。それを見るとぼくは、うれしくなります。しごとがおわるといえのことをしてくれれます。そうじをしたり、ごはんをつくってくれます。そうじのときは、ぼくもかたづけをてつだったりします。りょうりをつくるおとうさんのてつだいもします。ごはんは、とってもおいしいです。休みの日には、ぼくをあそびにつれていってくれます。公園に行ったり、ゲームセンターにつれていってくれたり、買い物に行きます。公園では、おとうさんもいっしょに

なつてすべりだいをしたり、ボールあそびをしたりしてくれます。ぼくは、そのときとてもうれいしいです。買いいものに行くときは、おとうさんとなにをかうか考えながらかいいものするのが楽しいです。でもぼくは、そのあとおかしをかってくれるのが、ちよつとたのしみです。おとうさんは、えがおで「いいよ。」

また、ぼくがしゆくだいをしるるときも、いっしょになつて、勉強を教えてください。もんだいがとけたときは、ほめてくれて、むずかしいもんだいときはやさしく教えてください。だからしゆくだいいまにち楽しいです。いつもおとうさんは、やさしいけど、おこるときは、すこくこわいです。ぼくがものをかたづけないうるときや、ことばづかいがわるいときは、おにみたいにこわいです。でもおこられるけど、そのあとはずごくやさしくしてくれれます。ぼくは、おこってくれるおとうさんも大すきです。毎日、しごともいそがしいけど、ぼくのことをたいせつに思っているおとうさんにかんしゃしています。